【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成31年2月14日(2019.2.14)

【公表番号】特表2018-508752(P2018-508752A)
【公表日】平成30年3月29日(2018.3.29)
【年通号数】公開・登録公報2018-012
【出願番号】特願2017-535330(P2017-535330)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　27/62　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　1/00　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　1/28　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/48　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　11/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｍ　1/42　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　27/62　Ｆ
Ｇ０１Ｎ　1/00　１０１Ｇ
Ｇ０１Ｎ　1/00　１０１Ｈ
Ｇ０１Ｎ　1/28　Ｊ
Ｇ０１Ｎ　33/48　Ｍ
Ｇ０１Ｎ　27/62　Ｖ
Ｃ１２Ｎ　11/00
Ｃ１２Ｍ　1/42

【手続補正書】
【提出日】平成30年12月27日(2018.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
生体試料を支持するフィルム上に第1レーザースポットを集束させて前記フィルムを加熱する工程であって、
前記フィルムを加熱することにより、前記生体試料を完全に気化させることなく気相中にリフティングし、前記気相が、前記生体試料をマスサイトメトリーシステムに送達するように構成されている工程
を含む生体試料をマスサイトメトリーシステムに送達する方法。
【請求項２】
前記フィルムが基材に結合されており、および前記フィルムが、前記基材上の不連続の離間した部位に複数の別個のフィルム部分を含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記複数の別個のフィルム部分が、複数の細胞捕捉部位を画定し、前記細胞捕捉部位が、単一の細胞のみを捕捉するように構成されている、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記複数の別個のフィルム部分間の間隙の表面が、前記生体試料をはじくように改質されている、請求項２に記載の方法。
【請求項５】

前記第1レーザースポットが前記生体試料を支持する前記フィルム上に集束され、前記フィルムを焼灼する、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
クッション層が前記生体試料と前記フィルムとの間に配置され、前記クッション層が前記フィルムの焼灼からのエネルギーを吸収し、前記フィルムの前記焼灼による前記生体試料への損傷を抑えるように構成されている、請求項５に記載の方法。
【請求項７】
前記クッション層の表面が、標的生体試料を優先的に捕捉するように改質されている、請求項６に記載の方法。
【請求項８】
切断レーザースポットを前記フィルム上に集束させ、前記生体試料の周りを切断し、前記生体試料を支持する前記フィルムの一部分を前記フィルムの大部分から分離することをさらに含む、請求項１に記載の方法。
【請求項９】
前記切断レーザースポットが第1レーザーからのものであり、前記第1レーザースポットが、前記第1レーザーとは異なる第2レーザーからのものである、請求項８に記載の方法。
【請求項１０】
生体試料をマスサイトメトリーシステムに送達するためのフィルムを含み、前記フィルムが前記生体試料を支持するように構成され、前記フィルムの加熱が、前記生体試料を完全に気化させることなく気相中にリフティングする、支持体。
【請求項１１】
レーザー照射によって前記フィルムが焼灼されたとき、前記フィルムが試料物質のスラグを放出する、請求項１０に記載の支持体。
【請求項１２】
クッション層が前記フィルムと前記生体試料との間に配置されるように構成され、前記クッション層が前記フィルムの焼灼からのエネルギーを吸収し、前記生体試料への損傷を抑えるように構成されている、請求項１１に記載の支持体。
【請求項１３】
前記フィルムが基材に結合されており、前記フィルムが前記基材上の不連続の離間した部位に複数の別個のフィルム部分を含む、請求項１０に記載の支持体。
【請求項１４】
前記複数の別個のフィルム部分が、複数の細胞捕捉部位を画定し、前記細胞捕捉部位が、単一の細胞のみを捕捉するように構成されている、請求項１３に記載の支持体。